



「夏の学校林活動」(中茶安別小中学校) 森の働きを発見!

令和3年9月3日(金)、中茶安別小中学校で、夏の学校林活動が開催されました。

今回の活動は、毎年実施している中茶安別小中学校林のるるんフオレストで、ヒグマが出たことに伴い、学校内での実施となりました。

まず始めに、食物連鎖について学びました。食物連鎖についての学習をする上で、楽しみながら学習してもらうため、捕食者と被食者の関係性について意識してもらおうネイチャーゲームである「コウモリとガ」を実施しました。

児童・生徒は、コウモリ役とガ役になりきって「コウモリ!」「ガ!」



▽「コウモリとガ」実施の様子

と大きな声で楽しみながら学習していました。

その後は、小学1年から小学4年生までを対象に「雨水の冒険(緑のダムについて)」と「森林クイズ」、小学5年から中学3年生までを対象に「森林の機能について(水源涵養機能)」と「森林クイズ」を2箇所に分かれて実施しました。

それぞれ、パワーポイントで実施して説明を行いました。特に、森林クイズ(次の足跡のうちヒグマの足跡はどれでしょう。等)では、



▽食物連鎖について説明する様子

正解を発表する度に、児童生徒の「喜」憂する声が室内に響き渡るなど、楽しみながら学習してもらえたのではないかと思います。



▽森林クイズの様子(小1~小4)



▽森林クイズの様子(小5~中3)

**企業との協働による植樹を実施
(企業の社会的貢献活動)**

令和3年10月5日(火)に、雷別地区自然再生事業地の笹覆い地(標茶町雷別国有林)で、「企業との協働による広葉樹の森林づくり」を行いました。

この活動は、札幌市に支店を置く企業が、社会貢献活動の一環として、平成29年度から当センターと協働し、雷別地区自然再生事業地で行っている自然再生の取り組みで、第4回目の開催となります。

今回の活動には11名が参加し、雷別地区の郷土樹種である広葉樹(ミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、カツラ)140本を植樹し、植栽木をエゾシカやエゾユキウサギの食害



▽開会式の様子

から保護するため、保護管(ツリ―シェルター)の被覆を行いました。当日は、低気圧の影響による降雨の心配がありました。参加者一人ひとりの思いが通じたのか、時折、曇り空から太陽の光が差したりするなど、活動のしやすい天気となりました。

始めに、企業の代表者から開会のご挨拶をいただき、続いて、当センターから雷別地区自然再生事業地の概要と作業に当たっての注意事項を説明しました。

その後、参加者は、植樹班と保護管組立班に分かれ、各班で当センターの指導を受けながら森林づくり活動に取り組みました。参加者の約半数がこの活動の経



▽植樹の様子

験者ということもあり、皆さん手際良く作業を進められ、想定よりも早く苗木の植付けが終わりました。休憩の後、全員で保護管の組立てと設置を行い、お昼前には植栽木への保護管設置が全て完了しました。植樹箇所を臨みながら昼食を取った後、最後に当センター所長から参加者へ、植樹の意義とSDGsについての話を交えて挨拶を行い、閉会となりました。

参加者からは、「普段、自然とふれあう機会が少なく貴重な体験だった。」「ウサギの(食害)対策も必要ということ知らなかった。」「植樹が想像よりも大変だった。」「達成感が素晴らしい。」等の感想をいただき、満足された様子でした。



▽集合写真



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。